

金沢外環状道路
山側幹線記念誌

山側環状10年の軌跡

2006－2016

石川県金沢市今町－石川県白山市乾町

石川、金沢の暮らしを
変えたみち



国土交通省 金沢河川国道事務所・石川県・金沢市



計画前の鈴見～田上地区周辺の状況

1975 昭和 50 年

山側環状の通過ルート

● 若松橋

● 金沢市立
兼六中学校

● 鈴見橋

● 金沢美術工芸大学

● 金沢大学医学部

● 金沢大学付属病院



国土地理院提供写真（昭和50年11月撮影）





メイン：山側環状を交通規制して行われた第2回金沢マラソンには、13,000人が参加した（大桑地区）

1 額谷地区から見る山側環状と金沢のまちなみ 2 山側環状沿道に整備された大乘寺丘陵公園
3 野田地区から大桑地区を望む
4 大桑地区から涌波地区を望む

Photo album 人・まち・暮らしをつなぐみち

山側環状が開通してから10年。
金沢市内外の交通は分散し、
快適な交通基盤が構築されました。
周辺地域とのネットワークも強化され、
私たちの暮らしも大きく変わりました。

メイン：崎浦涌波トンネル周辺の夜景（大桑地区）。

1 平成 21 年 12 月に整備された鈴見高架橋 2 崎浦涌波トンネル 3 大桑地区のまちなみ 4 沿道のまちなみに整備された憩いの空間（田上本町朝霧公園）



Photo album

人・まち・暮らしをつなぐみち





5 地域住民の協力により良好な沿道
景観を創出（もりの里地区） 6 緑豊
かな大学門前街を形成する道路景観
7 ゆとりある自転車歩行者空間 8 企
業立地の進む金沢森本インター工業
団地 9 交通の要衝（金沢森本IC）
に近く好立地の工業団地



山側環状開通 10 年に寄せて



金沢大学 理工研究域環境デザイン学系・系長
教授 **高山 純一** 氏

金沢都市圏における幹線道路網計画が正式にまとまったのは、おそらく昭和 49 年～51 年に行われた第 1 回金沢都市圏総合交通体系調査（通称：パーソントリップ調査）や金沢市新長期計画においてではないかと思われる。そうすると昭和 51 年（1976 年）から、実に 30 年たって、ようやく外環状道路山側幹線（山側外環状道路）が開通したわけである。その山側外環状道路の全線（暫定）開通から 10 年が経過し、市内中心部の交通混雑、特に北部方面から市内へ向かう道路の混雑状況が大きく改善された。しかし、平成 18 年 4 月の開通当時は鈴見交差点も平面交差であり、朝夕の混雑が激しく、交通事故も非常に多く、かなり課題の残る形での開通であった。この問題を解決するために、平成 21 年 12 月に鈴見交差点の立体交差化が行われ、それにより鈴見交差点周辺の交通渋滞の解消と交通事故の軽減がはかられた。また、平成 22 年 3 月には、念願であった神谷内出入口も供用されることになり、金沢森本インターまで遠回りしていた筆者にとって、自宅からの最

短経路を通ることができるようになり、大変便利になったと喜んでいる。

現在、鈴見交差点から東長江出入口までの間が 4 車線化されているが、2 車線区間においては、朝の通勤ラッシュ時（東長江から北方面）、休日の夕方（梅田から南方面）はかなり激しい交通渋滞が見られている。この交通渋滞を解消するためには、一日も早い 2 車線区間の 4 車線化が不可欠であり、外環状海側幹線の開通（大河端一福久間の供用開始）と合わせた道路整備が必要である。いずれにしても、現在進められている東長江出入口から神谷内出入口までの 4 車線化工事の完成が待ち遠しいものである。

近年は、昔に比べ道路整備の予算が限られているため、早期の全線 4 車線化は困難であるが、安全性の確保、地域経済活性化のためにも、一日でも早い完全 4 車線化を望みたいものである。

CONTENTS

4 Photo album

人・まち・暮らしをつなぐみち

8 [Message]

山側環状開通 10 年に寄せて

金沢大学 理工研究域環境デザイン学系・系長
教授 高山純一 氏

10 金沢外環状道路の計画

12 整備の概要

15 第1章 開通後のまちづくり

[道路交通]

16 ① 交通状況の変化

20 ② 交通環境の整備

24 ③ 良好な道路環境の形成・維持

[新たなまちづくり]

25 ① 周辺における土地区画整理事業

26 ② 人口、世帯数の変化

27 ③ 山側環状周辺のまちなみ

29 第2章 開通による生活の変化

[公共交通の充実]

30 ① バス路線の新設

② パークアンドバスライドの実施

[生活環境の変化]

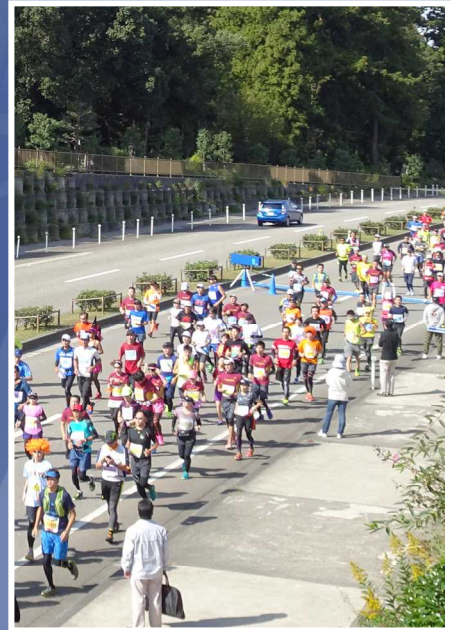
31 ① 良好な住環境における新築住宅の増加

32 ② 商業施設の充実

[安全・安心の確保]

33 ① 災害時の交通確保

② 金沢大学附属病院へのアクセス向上



35 第3章 活力の創出

36 産業の活性化

38 教育機関の集積

39 観光振興

40 [COLUMN]

新技術・特徴ある技術の活用

41 第4章 開通まで

42 道路にふれあうイベント

43 開通プレイベント

47 開通

48 [おわりに]

国土交通省 金沢河川国道事務所
事務所長 富山英範 氏

49 巻末資料

50 金沢市周辺における交通量調査箇所

57 本誌で紹介した主な施設

58 山側環状整備のあゆみ